



## 教育目標



- 知** 自ら学ぶ意欲を高め、よく考える人となろう  
**情** 思いやりをもち、共に高め合う人となろう  
**意** 強じんな意志をもち、最後までやり抜く人となろう  
**体** 勤労を尊び、たくましい心身を鍛える人となろう

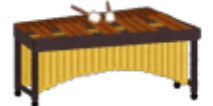
令和4年度 遠別中学校だより  
 令和5年1月31日(火) 発行

《本年度の経営方針》  
**生徒の自己肯定感を高め 「チーム遠中」による組織的取組の推進**  
 キーワード 「生かす」「認める」「ほめる」

### 本音で語れる生徒に

校長 田谷典久

新たな年が明け、生徒の元気な声が校内に響き渡り、今年度を締めくくる3学期が始まりました。始業式の中で学年代表の言葉がありましたが、1年生田村さんの家事の手伝いや3年生北島さんの初詣の話など、それぞれが自分の言葉でしっかりと語りかける姿に成長を感じました。また、冬休みの吹奏楽のアンサンブルコンテストでは、ソロ部門で2年生阿部さんが、10人中2人しか取れなかった金賞を見事受賞しました。改めて、本校の生徒が持っている能力の高さを感じさせるものでした



私は、始業式の中で全校生徒に、「みんなのもっている力を存分に発揮するためにも、本音でしっかりと語れる生徒になってほしい。」と伝えました。現在、全校生徒一人一人と面談を行っていますが、その中には、「クラスをもっと良くするために色々なイベントをやりたい。」とか、「先生方に無駄話の少ないスムーズな授業をしてほしい」など様々声が上がってきています。また、生徒会の意見箱にも、「教室が寒いので、膝掛けを使わせてほしい。」などの投書がありました。それらを受けて、学校を良くしていくためには、本音で意見をぶつけ合うことが一番大切だと感じています。大人の想像以上に、子どもたちは、前向きな気持ちだけでなく鋭い感性で物事をしっかりと捉えています。今後も、生徒の声を生かしながら、自己肯定感を高める中で、「自分で考え、判断し、行動できる生徒」の育成に努めて参ります。



1階と2階にそれぞれ1つずつ設置されている「意見箱」

また、道内ではインフルエンザ流行の兆しが見られるなど予断を許さない状況にあります。2学期は町内で、本校だけが閉鎖を免れることができました。それも、全校生徒はもとより各家庭が、毎日の健康観察の報告など感染症対策に対する意識を高くもっていただいたことが要因だと押さえています。3学期も、安心・安全な学校生活を送らせるために、地域・保護者の皆様のご理解とご協力を引き続きよろしくお願いいたします。

### 道教委作成リーフレット「コロナ・インフル同時流行への備え」